

## 中学校及び高等学校の部

### 優良賞

#### 「島々を巡る旅」

宮古島市立伊良部中学校 3年生 長濱 優希

沖縄には人が住んでいる島が三十九、無人島が十五、あります。そして沖縄本島以外に飛行場のある島が十二、あります。

私の住んでいる伊良部島には、下地島空港という、パイロット訓練飛行場があります。現在は、民間の飛行場として使用されていませんが、今後どのように活用されていけばいいのか、さまざまな意見が交わされているところです。

沖縄の美しい海の上に散りばめられたように存在している島々を飛行機でつないでいく、空の観光ルートがあったら、もっと沖縄の魅力に引き寄せられる人達が集まってくるのではないのでしょうか、これが私の提案です。

空から見るエメラルドグリーンの海。透き通った海に見える珊瑚礁や島を囲むリーフと島々の形。その様子を低空飛行で見た美しさと感動が忘れられないと、語っている人たちもいると、聞いています。

地図を見ると、沖縄の島々は、沖縄諸島として北から南へ細長くつながっています。話している言語や方言をはじめとして、それぞれの島が他の島にはない文化や歴史や、自然を持っています。

例えば、沖縄本島よりも台湾に近い国境の島。沖縄本島から遠く離れているのに琉球王朝の文化を島の人たちがみんな演じている島。琉球の文化ではなく、日本文化の伝統が伝えられている島。“幻の酒”と呼ばれる酒を製造している島。海底に遺跡があり歴史のミステリーを想像させる島。登り坂なのにボー

ルが坂の上へ向かって転がっていく不思議な坂のある島。夜になるとサンシン（三線）の音色が聞こえてくる島。見上げた夜空に南十字星が輝いて見える島。国際保護鳥の渡り鳥が羽を休めにくる島。世界的にもめずらしい昆虫が発見された島。人気のあるダイビングスポットが多い島。赤瓦屋根の家々が並ぶ島。昔ながらの石垣が残っている島。カラフルな熱帯魚が身近に見える島。オリジナルの焼き物を作っている島。オクラ畑や人参畑やかぼちゃ畑が広がる島。その島でしか見られない植物が可れんに咲いている島。星の形をした砂が一面に広がっている浜辺がある島。

調べれば調べるほど、あふれ出てくる島々の魅力。そのオンリーワンの物語が島々には存在していると思います。そして、実際に島へ行ってみなければ、分からないそのままの自然の姿などがそこにはあるのです。

そこで、島のストーリーと出会える観光ルートをつくってみたいと思います。沖縄の島々を一周する島から島への旅は、夢のある楽しいプランになると思います。

私の夢の計画は、そのステーションを下地島空港につくるという事です。そこから、飛行場のある十五の島々とつながっていける飛行ルートを作り、さらにそこから三十九の人が住んでいる島や十五の無人島へも船で移動できるルートを広げていきます。下地島空港のステーションには、それぞれの島の案内コーナーを設置して、沖縄のすべての島々が紹介できるようにします。そして、観光客のみなさんが自分たちで、島と島を組み合わせたプランができるようにするのです。

島へ渡っていけば、そこには、それぞれの島の暮らしが待っていてくれると思います。それから、記録として残されてこなかった島の歴史についても、考えさせてくれる出会いが見つけれられるかもしれません。島のありのままの姿や

手が加えられてない自然は、言葉にできない大切なものをきっと伝えてくれる  
と思います。

観光客や訪れた人は、島の道を歩いているだけで、島の人たちのゆったりと  
した生活リズムを感じ、のどかな気持ちになるのかもしれませんが。おじい、お  
ばあの素朴な笑顔とふれあって、島の優しさに心を癒されるかもしれないので  
す。畑の土を自分の手でさわり、裸足で砂浜を歩いて自然の力、パワーを自分  
の体で感じることもあるかもしれません。

青い海、広い空、島々のもつパワーがつながりあって、言葉にできない何か  
素敵なことを感じられる旅がきっと実現できると思いますが、いかがでしょう  
か。